

2007年度 第4回幹事会議事録

●日時

2007年11月17日(土)
15:00～17:00

●場所

阿佐ヶ谷美術専門学校内

●出席者

秋元圭一〔会長〕
甲斐光省〔副会長〕
三好耕之〔常任〕
西田一成〔常任〕
渡部征明〔常任〕
大村政幸〔常任〕
浜村圭一〔常任〕
松岡和彦〔常任〕
白石龍子〔常任〕
小山弘〔常任〕
勝山昌幸〔常任〕
永吉昭浩〔会
員〕

●委任欠席(カッコ内→代理人)

藤川正美(小山)
菊池 満
宮川洋之
角谷祥子
富澤和治

常任出席者 11名

委任欠席者 5名

定足数成立

●議事進行

議長・進行:秋元圭一

●議事録

書記:相川香代子
校正・制作・文責:
秋元圭一・小山 弘

■議題

- 1 セミナープロジェクトの報告
- 2 各委員会・プロジェクトの進行状況の報告
- 3 その他

議題1. セミナープロジェクトの報告

秋元氏からセミナーについて「前回と次回のセミナーに関しては、どちらかといえば卒業生より在校生を対象とした内容と思っていた。しかし、講演会の席に在校生が参加していた印象は薄く、次回の講演会に於いても同じことが言えるのではないだろうか」との意見があり、「在校生がより興味を抱きやすい人選をしたり、授業の一環として取り入れてもらうなど、学生に対するPRを多様に行うべきではないだろうか」と述べ、今後のセミナーの方向性について意見交換に入った。「(渡部)授業の一環というのは単位の関係もあり難しいと思われる」との意見や「(松岡)そもそもセミナーは在校生を対象に行われるべきものなのだろうか」という意見を受け「(渡部)1年生を対象にすれば、企画によって2年目3年目と続くこともあるかもしれない」「(浜村)行きたいと思えるものをやるべき」「(渡部)校外の人に講師を頼む事で、バラエティー豊かになるのでは」などの提案がされた。最終的にはあまり集客に重きを置かず、セミナーを開く意義を重視し、今後も様々な方向性について検討していくということで話がまとまった。

議題2. 各委員会プロジェクトの進行状況報告

◎総会・パーティー

「(秋元)会場として現在検討中であるパーシティホールだが、10月25日は既に押えてあり、その後11月1日は仮押えをした。11月8日に関しては未定だが、今月中には先方へ確認をとりたい。また、最終的にパーシティホールで決定するのか、日程、内容等は次回の議題にしたい」との報告があった。

また、前回(2003年)催された総会パーティーに関する件で「(秋元)全体での支出は240万円。会費は3000円を徴収し、卒業後間もない人からは1000円とした。会費収入は47万円程で、寄付等を含めれば全体として60万円の収入となった。同窓会からの支出は実質180万円程になるが、前回は『同窓会ニュース』がパーティーの案内状にもなっていたため、製作・送付料が差し引かれ、130～140万円程の支出となった」と報告し、「会費の設定により予算組みが変わるため、前回の会費設定、参加者の人数等で計算し、おおよその予算案を次回に大枠で示したい」とした。

◎WEB

「(松岡)デザインに関し、今後変えてゆきたいと考えている」との報告のほか、掲示板が活発に利用されていないことを問題とした。「(秋元)以前より書き込みがしにくくなった」との意見があり「(松岡)書き込みのいたずらを防ぐために階層を深くしたが、これが同時に書き込みの頻度にも影響している。掲示板に公共性のあることを書き込むことで閲覧の頻度をあげてゆきたい」とした。ほかに「TOPページへ戻るリンクが分かりにくい」などの意見があり、これも改善してゆくとした。

◎広報

「今回、ヤマト運輸を使用したことにより『同窓会ニュース』の送料が通常より安くなった」との報告があったが、運送会社の使用による問題として「住所が違っていても転送されることがないため、通常60名前後のところ、120名分余り送り返される事態になった」との報告もされた。それに対し「(秋元)多少、金額が増えたとしても転送サービスのある郵便を使用した方が結果として良いのではないだろうか」との意見が交わされた。

◎事務局

「(小山)新しいフォーマットでの名簿管理を準備中である」との報告があり「詳細については次回の会議にて報告する」とした。また、『同窓会インフォメーション』に関して「(小山)卒業生に会則を渡す際、『同窓会インフォメーション』に同封して渡すのはどうか」という提案がされ、今後検討するとした。

◎会則検討委員会

甲斐氏より別紙にて会則改訂案が配布され、「(甲斐)検討事項というのは特にはない。今までの改正部分の誤字・脱字等の修正をした」と報告した。他に、「連絡幹事会」の「連絡」部分の省略の報告、これ以降の会則検討委員会の活動として、章立ての変更などがあった場合にはその段階で再び委員会を立ち上げる形となることが提案され、承認された。また、幹事に示す際には会則の改善前・後の両方を提示するということを確認した。

議題3. その他

卒業生に対するアプローチについて「(秋元)来年3年に進級する生徒から会費の徴収方法が変更される。それに伴い、父兄に対する連絡・説明文を送付する必要があるが、父兄からの理解を得るためにも、その説明文と共に会則などを書面で送った方が良いのではないだろうか。WEB上のみ載せているというのでは不親切なのでは」との提案があり、これを決定した。また「(西田)説明文と共に活動実績や名刺などの文書も添えてはどうか」などの意見もあり、文書の形式等、詳しい部分は今後検討、報告するとした。

また、会費徴収に関して学校側の協力に対する手数料として5%前後を渡してもいいのではないか、という意見が出され、今後話を進めていくこととした。

卒業制作作品集制作費の援助について「(渡部)学校側から、今年度は卒業パーティーが中止の方向で進んでおり、より良い作品集の制作のため、浮いた分の10万円を制作費の補助として学校に寄付してほしいとの提案がされている」との報告があり、意見交換に入った。

「(松岡)そもそも卒業パーティーを行わないというのはどうか。職員と生徒との交流がなくなってしまう」「(西田)元々パーティーのために立てられた予算。パーティーはパーティー、補助金は補助金として分けて考える必要があるのでは」との意見がでた。

それに対し「(秋元)二つを分けて考えた上で、制作費の援助の件は予算にはなくとも予備費をあてることも出来なくはないが、今年度は無理でも来年度からは検討のうえ予算化は可能である」とした。また、パーティーを中止することに関しての意見として「(西田)新しい同窓生として迎え入れる意味で、パーティーを開催してはどうか」と意見が出された。寄付に関して具体的な金額の指定はなく、今後パーティー開催の件とあわせて検討していくこととした。

来年行われる常任幹事会の改選選挙について「(秋元)次回の会議には、まとめた形で報告したい」とした。

次回日程:2008年1月26日(土)の15:00～17:00ということを確認して会議は閉会した。

(後日、2月2日(土)に変更となった)